

## 今月の情勢 ~ 経済・金融の動向 ~

### 原油市況

原油価格（WTI 期近・終値）は、OPEC の増産観測が後退（09 年 12 月の OPEC 総会では生産枠据え置き決定）する一方、在庫減少や需要増見通しの発表、北米での寒波襲来などから 10 年 1 月上旬には 1 バレル = 83 ドル台に一時上昇。直近は 70 ドル台後半で推移。

### 米国経済

米国では、景気対策法（総額 7,870 億ドル）に基づき、2010 会計年度末までの 5 四半期間、1,000 億ドルずつを四半期ごとに支出する予定。また、住宅減税の継続や雇用保険の支給期間の延長についての法案が 09 年 11 月初めに成立、12 月 8 日には追加雇用対策が発表された。一方、米連邦準備制度理事会（FRB）は、09 年 12 月 16 日発表の FOMC 声明文で、景気の持ち直しが続いており、労働市場の悪化が和らいているとの認識を示した。また、緊急流動性対策の大部分を 10 年 2 月 1 日に、住宅ローン担保証券（MBS）などの買い取りは 10 年 3 月末で打ち切る方針を示したが、延長する可能性も残る。金融・財政、両面からの景気てこ入れなどにより経済指標にも改善を示すものが増えてきているが、09 年 12 月の非農業部門雇用者数は再び減少（前月比 8.5 万人）するなど、雇用環境はなかなか改善に向かず、また、住宅・商業不動産などのローン債権の劣化が進むなど、依然として厳しい。

### 国内経済

日本経済は輸出や生産面で改善の動きが続く。09 年 11 月の鉱工業生産指数（確報値）は前月比 +2.2% と、9 ヶ月連続で上昇。09 年 12 月、10 年 1 月分についても引続き、上昇が見込まれている。一方、設備投資の先行指標である機械受注（船舶・電力を除く民需）では、09 年 11 月分が前月比 11.3% と、2 ヶ月連続で減少し、統計開始以来の最低水準を更新。雇用悪化には、歯止めがかかりつつあるが、本格的な回復には時間を要するものと思われる。

### 金利・株価・為替

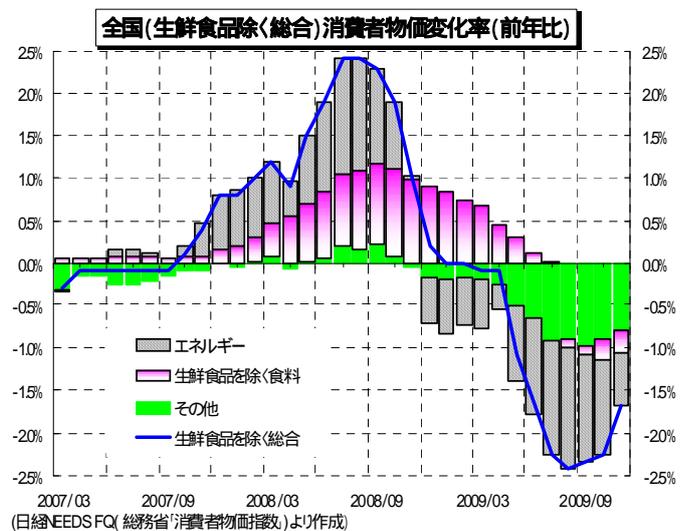
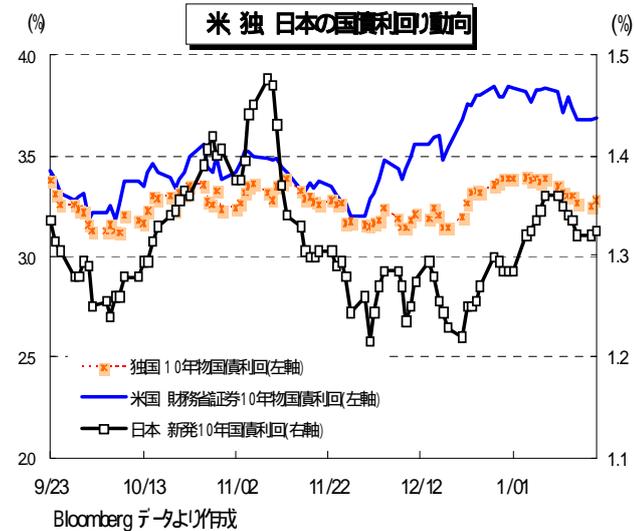
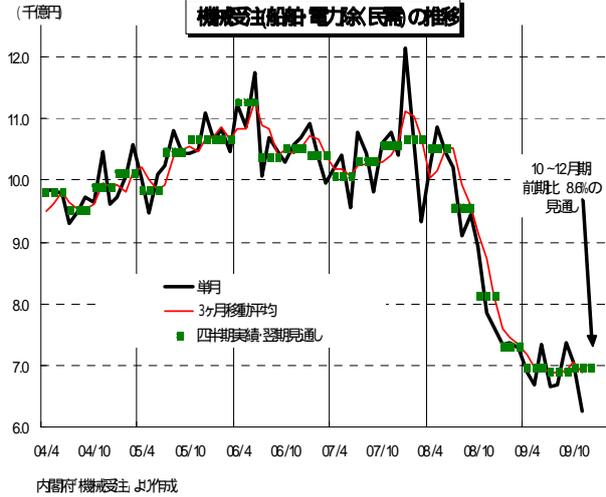
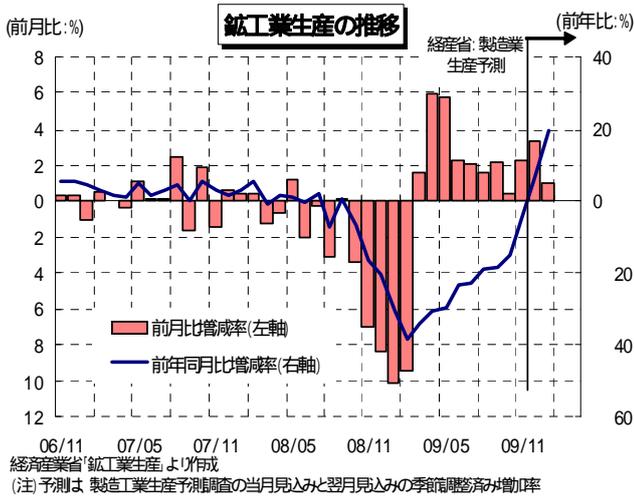
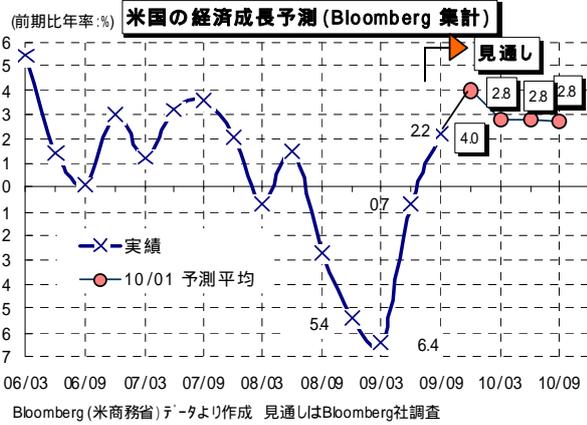
外国為替市場では、米長期金利の上昇や FRB が米国の景気回復に伴い緊急措置を予定通り解除するとの思惑、菅財務相による円安容認発言から 10 年 1 月上旬に 93 円台まで一時上昇したが、このところは 90 円近辺で推移。日経平均株価は、円安や世界的な景気回復期待などから、1 月中旬には、1 万 900 円台まで上昇。日本の長期金利の目安である新発 10 年国債利回りは、09 年 12 月後半以降の円安・株高傾向などから上昇傾向となったが、直近は 1.3% 台で推移。

### 政府・日銀の景況判断と金融政策

政府は、09 年 11 月の月例経済報告でデフレを宣言した。また、12 月 8 日に総額 7.2 兆億円の緊急経済対策を、25 日に一般会計総額を過去最大の約 92.3 兆円とする 2010 年度予算案を閣議決定。与党は予算の年内早期成立を目指しているが、「政治とカネ」をめぐる問題の展開によっては、成立の遅れも懸念される。一方、日銀は、12 月 1 日の臨時金融政策決定会合で、国債、社債、CP を担保に 10 兆円程度資金供給する、新しい資金供給手段の導入を決定した。12 月 18 日の金融政策決定会合では改めて、デフレを容認しない姿勢を示したが、今後更なる対応がなされるか、注目される。また、08 年 12 月から政策金利を 0.1% に据え置いているほか、中長期国債（月 1.8 兆円）の買い入れを継続している。

（10.1.20 現在）

## 内外の経済金融データ



(詳しくは、ホームページ-トピックス-[今月の経済・金融情勢] <http://www.nochuri.co.jp>へ)